

ピックアップ
新刊pickup 3 今回は知識の絵本

① 『うまれてそだつ わたしたちのDNAといでん』

ニコラ・デイビス//文 エミリー・サットン//絵 越智典子//訳 ゴブリン書房 2021年4月刊



わたしたちは、うまれて、おおきくなって へんかして、おとなになっていく。それはにんげんだけではなく、どうぶつも しょくぶつもおなじ。

では、すべてのいきものは、いったいどうやってそだっていくの？ そのぎものこたえは、わたしたちがおなかのなかのちいさなてんのときからもっている、「せっけいしょ」にありました。

「DNA」と「いでん」について、イラストとともにやさしく理解できる絵本です。

② 『青のなかの青 アンナ・アトキンスと世界で最初の青い写真集』

フィオナ・ロビンソン//さく せな あいこ//やく 評論社 2021年3月刊



サイアノタイプ。一般には、「日光写真」「青写真」という名で知られている「仕上がりが必ず青い色となる」プリント技法です。この技法に魅せられ、多くの植物写真を残し、「最初の女性写真家」と呼ばれているのが、この物語の主人公、19世紀の植物学者・写真家アンナ・アトキンスです。

そのアンナの一生を、発色を似せたであろう「青色」を基調として描いている絵本です。

また、実際にアンナが撮影した写真も数多く紹介され、巻末にはつくってみよう頁もあることから、サイアノタイプを知る絵本としても楽しめます。

③ 『おかえり、ウミガメ』

高久至//写真・文 アリス館 2021年4月



本の表紙を見てください。まるで、ウミガメが空を飛んでいるみたいです。ページを開くと、たまごを産むおかあさんガメ、たまごから産まれて海を目指すあかちゃんガメ、そしてまた戻ってくるウミガメ。

この本では、たまごを産みに屋久島という島を訪れるウミガメのようすを、ずっと見続けていたくなるような美しい写真で紹介しています。



-むかしばなし-

- ◆ 『いっすんぼうし(日本傑作絵本) シリーズ』
いしいももこ // ぶん あきのふく // え
福音館書店
1965年12月刊
請求記号：J-E1-イ
- ◆ 『かぐやひめ(復刊・日本の名作) 絵本 2』
えんちふみこ // ぶん あきのふく // え
岩崎書店 2002年4月刊
請求記号：J-E1-カ
- ◆ 『こびととくつや グリム兄弟の
童話から』
グリム兄弟 // [作]
カトリーン・ブラント // え
平凡社 2002年2月刊
請求記号：JH-E0-コ
- ◆ 『白雪ひめと七人のこびと
グリム童話より(児童図書館・
絵本の部屋)』
スベン・オッター // え
やがわすみこ // やく
評論社 1979年9月刊
請求記号：7-E0-シ



-しらべてみよう-

- ◆ 『妖精 すがたを見せずにそばに
いるもの(ほんとにいるんですか?)
絵図鑑』
やじまますみ // え
矢島真澄 // 絵
ももゆりこ // 監修
グラフィック社 2013年11月刊
請求記号：J-38
- ◆ 『妖精図鑑』
エミリー・ホーキンス // 著
ジェシカ・ルー // え
こばやしれいこ // 訳
小林玲子 // 訳
河出書房新社 2020年11月刊
請求記号：J-38

-大かつやく!-

- ◆ 『小さなミンディの大かつやく』
エリック・A.キメル // 文
バーバラ・マクリントック // え
福本友美子 // 訳
ほるぷ出版 2012年10月刊
請求記号：J-E0-チ

『おたすけこびと』シリーズ
1作目です。

- ◆ 『おたすけこびと
Who made this cake?』
なかがわちひろ // 文
コヨセ・ジュンジ // え
徳間書店 2007年2月刊
請求記号：JH-E1-オ